

活動報告

親子でめぐる伝統文化体験教室

京都・里山 親子でめぐる伝統文化体験教室

ことすでは、今年度から文化庁の支援を得て、こどもたちを地域にお招きして、北部山間地域の伝統文化を体験していただく事業に取り組んでいます。京北の丹波音頭、宕陰の竹灯籠、水尾の柚子、中川の北山丸太、別所のチマキザサなど、それぞれの地域に伝わる伝統芸能や食文化、年中行事などに親子で楽しみながらご参加いただきました。この他にも、久多宮の町に伝わる「松上げ」のVR体験や伝統文化を学べる「京都里山めぐる展」もめぐる市で開催中です。みなさんぜひ、ことすへお越しください。



松上げVR体験の様子

Kステーションのお知らせ



健康づくりサポート拠点

Kステーション

9月以降主に京北めぐる市開催時に解放し、多くの方にご利用いただいています。

Kステーションとは？

健康の維持・増進には毎日の生活習慣の積み重ねが大切です。健康に関するデータを測定し、それに沿った生活習慣の改善を、皆さんと考える場所。それがKステーションです。Kステーションでは、血圧、身長、体重、体組成、握力、筋力、バランス感覚といった体力測定が実施でき、それに基づいたアドバイスを受けることができます。年齢性別問わずご利用いただけますので、めぐる市の際にぜひお立ちよりください。

1月のイベントはスペシャル版！

1月のめぐる市では、東海地方・名古屋を中心に活躍する書家：矢野きよ実さんを招き、心を開放する書初めを実施します。SDGs 問答にも出演いただきますのでお楽しみに！

京北健康増進プロジェクトが始まります！

京北地域の健康増進を目指すプロジェクトの第1弾として、京北にお住いの40歳以上の方を対象に生活習慣に関するアンケート調査を実施させていただきます。2023年以降はその結果をもとに地域の特徴に沿った健康増進プログラムを開発していく予定です。お手数料をおかけしますが、お手元にアンケートが届いた際はぜひご協力ください。



発行

京都京北未来かがやきビジョン推進会議 京都超SDGsコンソーシアム

右京区役所京北出張所（庶務担当：中村、磯部） TEL:075-852-1811 メール:keihoku-vision@city.kyoto.lg.jp

〒601-0292 京都市右京区京北周山町上寺田1-1

この印刷物は、
自然エネルギー
（バイオマス発電5.6kWh）を
使用して印刷しました。



京都から世界にSDGsを発信する情報プラットフォーム

SDGs KYOTO TIMES

Vol. 10

かわらばん

京都京北みんなかがやく瓦版



シカ肉料理を食べてにっこり。

京都京北未来かがやきビジョン推進会議

11月26日（土）京北めぐる市にて

シカ肉料理試食会を開催しました。

これまでのワークショップで話し合われてきた“シカ肉料理を家庭にも広げていきたい”というテーマを具体的に進めていくため、食生活改善推進員「健康しゃくなげ」の方々の御協力のもと、実際にシカ肉料理を味わって、シカ肉について学ぶ試食会を行いました。

食育と健康づくりのスペシャリストでもある「健康しゃくなげ」さんからは、シカ肉の優れた栄養価のことや料理のアドバイスを、京北猟友会さんからはシカの生態や肉のにおいのことなども説明していただき、京北内外から訪れた参加者は、美味しい料理に舌鼓を打ちつつ興味深い話に耳を傾けて、シカ肉への理解を深めました。アンケート調査では「シカがこんなに美味しいと思わなかった」、「もっとジビエを世の中に広めてほしい」、「スーパーなどに並べば牛・豚のように選択肢の1つになるのでは」など、約40人の参加者の評判は上々。これをきっかけにシカ肉活用の取組がさらに活発になることを目指していきます。



当日のシカ肉料理メニュー

- ①唐揚げにらソースかけ ②ガーリックステーキ
- ③酢豚風 ④シカカツのカレーソースかけ



活動報告

第6回京都大学“超”SDGsシンポジウム「持続可能性のみんなごと化」

11月4日～6日、ことすにて

「持続可能性のみんなごと化」をテーマにシンポジウムを開催しました。



「みんなごと化」をテーマに、京都超SDGsコンソーシアム加入企業のSDGs達成に向けた取り組み紹介や市民参加型の調査プロジェクト「山の健康診断」の事例紹介、人気番組「SDGs問答」の特別編など、様々なプログラムを実施しました。

全国の若者や活動団体がことすに集まり、資源循環をテーマに2025年大阪・関西万博に向けて話し合う共創会議では、どのように「みんなごと化」して行動していくか、活発な議論を行いました。また、京都女子大学・京都光華女子大学の学生による廃材や端材を活用したアップサイクル作品の展示も行われました。これらの作品の一部は、現在もことすで展示中です。



京都京北小中学校「京北未来プロジェクト」大発表会！

京北地域の魅力を小学生たち全員が発表しました。

京北未来プロジェクトは、2022年11月25日に京都嵯峨野ロータリークラブの30周年記念事業の一環として実施されました。実施にあたり、活動物品の寄贈もいただき1年生から6年生までの全員が様々な形で、地域内外の方々、さらには国外の方（京都大学の留学生）に京北の魅力を伝えました。校長先生と、同クラブの小林正典会長によるあいさつの後、次のような発表がありました。

- リズムに乗って楽しもう♪ … 1年生
- 京北の伝統文化「丹波音頭」を伝えよう … 2・3・4年生
- 土俵入り披露 … 2年生
- This is my town. (京北の町を紹介しよう) … 6年生
- 京北の食文化の紹介 … 5年生

どれも一所懸命で素晴らしい発表でした。
写真は、みんなで輪になって丹波音頭を踊っている様子です。



こと：スクール 第1回 こと：ファクトリー入門編

サステナブルな社会に向けた資源循環を実現するプロジェクト

「こと：ファクトリー」にて、合宿研修を実施しました！

10月17日～19日に「こと：ファクトリー入門編」を実施しました。これは、素材づくりをはじめ、製造・加工・デザイン・販売まで、これまでのリニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへの転換に向けた、新しい時代へのものづくり研修と、分野を超えたネットワークづくりを目指すという内容です。課題や疑問を持った企業・デザイナー・アーティスト等が参加し、中台澄之氏（株式会社ナカダイ代表取締役）、浅利美鈴氏（京都大学大学院地球環境学堂准教授）が講師をつとめる3日間の研修の中で、廃棄物を使った実践ワークや相互発表による意見交換、夜には京北住民を交えたBBQを行い、ことす思考のSDGsを学びました。



こと：スクール 第2回「京都SDGsパートナー」研修

企業や団体等がSDGsの取組を宣言し、登録する制度

「京都SDGsパートナー制度」を活用した合宿研修を実施しました！

11月9日～11日に「京都SDGsパートナー」研修を実施しました。これは、参加企業のSDGsに資する活動や取り組みを基に、各社の2030年に向けた目指すべき姿や、さらなる取り組み等を共に考え、実現に向けた提案書の作成を行う研修で、最終的に本制度への登録を行うところまでサポートするものです。

浅利美鈴氏（同上）、齋藤久也氏（京都市SDGs・レジリエントシティ推進課長）が講師をつとめる3日間の研修の中で、他企業の事例も参考に自社の強みや弱みの整理、さらなる取り組み等の検討などを行い、社内向けの実施提案書の作成・プレゼン動画の収録にも取り組みました。また、木工ワークショップや電動アシスト自転車を利用したサイクリングなど、京北ならではの里山自然体験の他に、参加企業や講師を交えた交流の場も設けられました。



※本事業は、「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業（観光庁）により試行的に実施されたものです。